



SPAC活動概要

2012/11/21

一般財団法人 衛星測位利用推進センター
専務理事 中島 務

◆ 一般財団法人への法人格の変更

- 公益法人制度改革を目的とする公益法人制度改革関連三法（「一般社団・財団法人法」、「公益法人認定法」及び「整備法」）の平成20年12月1日施行に伴い

旧 特例民法法人 衛星測位利用推進センター



新 **一般財団法人 衛星測位利用推進センター**

(平成24年10月1日登記済)

◆ 民間利用実証の推進・取りまとめ・環境維持

- 民間が希望する利用実証の全体計画取りまとめと実証実験支援の実施の継続
- 利用実証に必要な補強情報配信システムの運用と受信機貸与の継続

SPAC活動概要(2)

◆ 測位利用拡大に向け、新たな協議会の準備を開始

- 昨年度の「準天頂衛星を利用した新産業創出研究会」の報告を踏まえ、準天頂衛星システムのサービス利用が想定される民間企業が、**国内のみならずアジア・オセアニア地域でビジネス展開するために必要となる業界横断的な課題を議論し、関係省庁とも連携して活動推進できる民間協議会**を立ち上げるべく準備中

【準天頂衛星を利用した新産業創出研究会の課題と解決策、今後の方策】

(平成24年3月 経済産業省取りまとめ)

1) 準天頂衛星システムの具体的な方向性の明示

- 準天頂衛星システムの整備に関する計画、方向性の明示
- 補強信号について、国際標準策定団体への提案の開始 等

2) 準天頂衛星システムの利用に必要な運用体制の整備、技術開発の推進、社会制度の整備

- 宇宙戦略室(仮称)を中心とした関係省庁の連携体制の整備
- 準天頂衛星システムの利用拡大に関する産業界における体制整備及び取組強化にかかる支援
- 関連する技術開発の着実な実施
- 安全性・信頼性等の規格化やその認証スキーム等の検討
- 妨害行為等への各種規制の検討
- 海外展開を視野に入れた人材育成、国際標準化を見据えた体制整備 等

3) 準天頂衛星初号機「みちびき」を用いたビジネスモデルの構築

- 利用実証の蓄積による技術的課題の解決
- ビジネスモデルの実証の実施
- 社会実証の実施
- 利用促進策の実施
- 簡易メッセージ送信機能の実証の実施 等

4) アジア・オセアニア地域における関係諸国との連携、協働体制の構築

- 受入国側の実情の把握
- 国別の実情に合わせた協力体制の段階的構築
- 実証実験等の取組を通じた連携体制の継続
- オールジャパンの体制構築 等

<最終目標>

2010年代後半を目途に、わが国を含むアジア・オセアニア地域において、準天頂衛星システムによるサービスを安定的に享受できる環境を整備する。